ユーパ
EÜPA

取扱説明書

コーヒーメーカー
TSK-1171

TSANN KUEN JAPAN/TOKYO

1.　安全のため必ずお守りください

●ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意　誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

⃠記号は、「禁止」（しないでください）を示します。

●記号は、「強制」（必ずしてください）を示します。

⚠ 警　告

修理技術者以外は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
●他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。

水につけたり、水をかけたりしない。
●感電・ショートの恐れがあります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。
●感電・やけど・けがをする恐れがあります。

ガラスカップなしで使用しない。
●過熱して発火することがあります。

⚠ 注　意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグ部分をもって引き抜く。
●感電やショートして発火することがあります。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
●感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない。
●電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

交流100V以外の電源は使用しない。
●感電・火災の原因となります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。
●火災の原因となります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
●けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

使用中や使用直後は保温板や蒸気出口に手を触れない。
●高温ですのでやけどの原因となります。
特に乳幼児にはさわらせないでください。

ガラスカップは直火にかけない、また電子レンジで使用しない。
●割れたり、とってが変形したりします。

お　願　い

取扱はていねいにお願いします。 ●落としたり、強い衝撃を加えたりすると故障の原因になります。	水タンクには水以外入れないでください。 ●故障の原因になります。	空だきしないでください。 ●故障や火事の原因になります。
本体は丸洗いしないでください。 ●ショート・感電の恐れがあります。	続けてコーヒーを作る場合は、スイッチボタンを「切」にして、約5分待ってください。 ●本体が熱いうちに給水したり、動かしたりすると湯口から蒸気や熱湯がでる恐れがあり火傷の原因になります。	

2. 各部のなまえとはたらき

バスケット

水タンクふた

水タンク
中に水位目盛がついています

電源プラグ

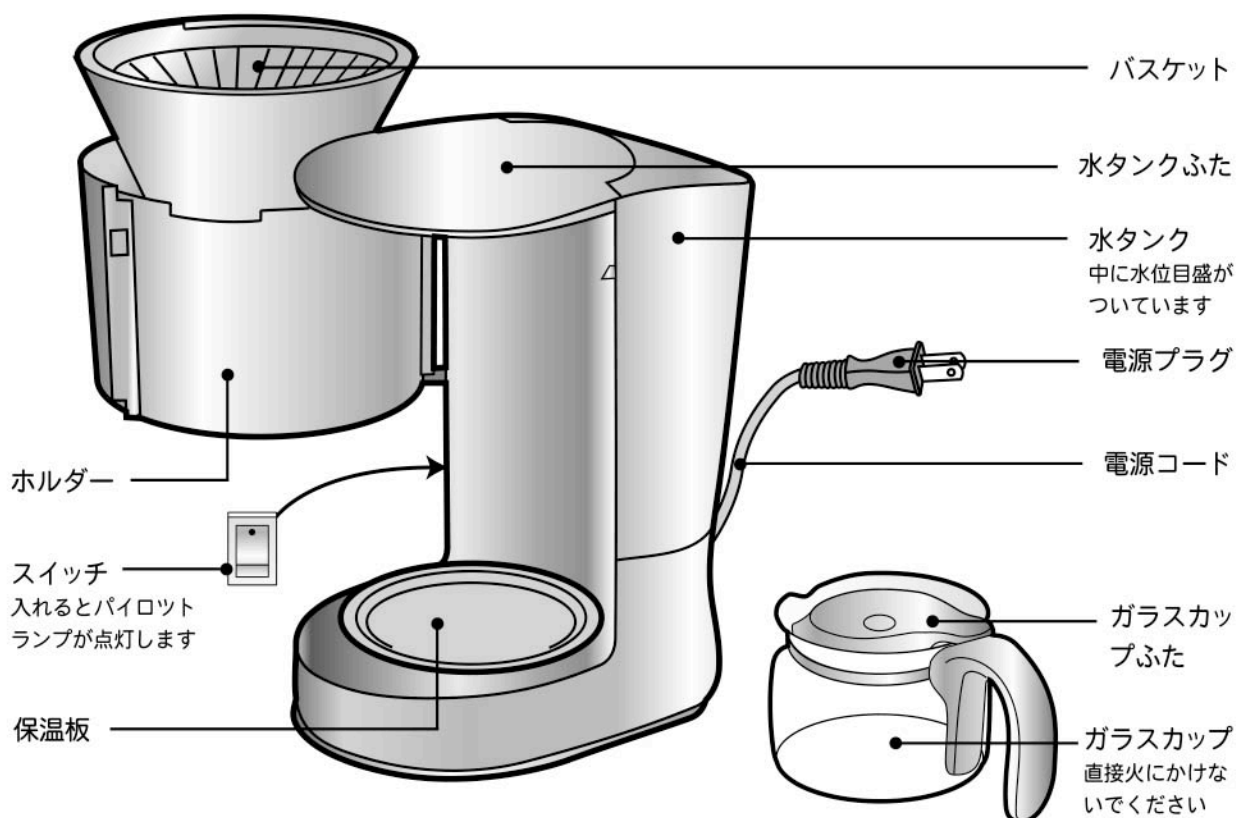
電源コード

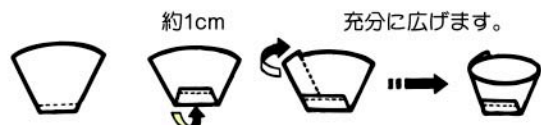
ホルダー

スイッチ
入れるとパイロットランプが点灯します

ガラスカップふた

保温板

ガラスカップ
直接火にかけないでください

ペーパーフィルターの折り方

● ミシン目から約1cm内側で折ります。

付属品

● 計量スプーン（1個）
すりきり一杯約7g。

● ペーパーフィルター
5枚付。
なくなりましたら、市販のものをお使いください。
（1x2または102）

3. 仕　　様

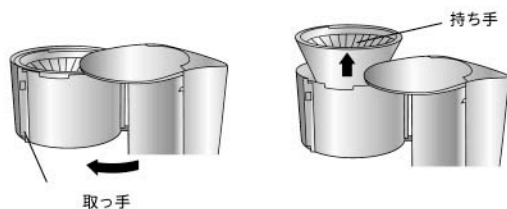
電　　源	交流100V　50/60Hz	消費電力	625W
スイッチ	「入」（ランプ点灯）　「切」	温度ヒューズ	240℃
水タンク容量	水量　520ml（1〜4カップ）	コード長さ	1.4 m
大きさ（約）	幅13.2cm × 奥行19.3cm × 高さ23.0cm	質　量（約）	1.1kg
付属品	ペーパーフィルター5枚 、計量スプーン１個		

4.　ご使用方法　中びき粉をお使いください。

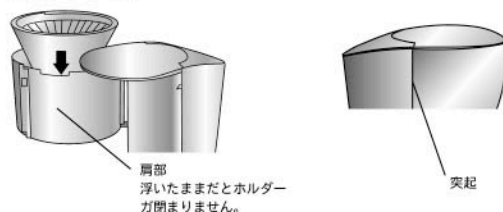
フィルターバスケットの着脱方法

●取り外し方

①取っ手を持ってホルダーを開ける。

②バスケットの持ち手をもって取り出す。

●取り付け方

①バスケット持ち手をホルダーの溝部に合わせてセットする。

②ホルダーを本体突起に動かないように確実に差し込む。

1.コーヒー粉を入れる

❶フィルターバスケットにペーパーフィルターをセットします。

❷コーヒー粉を付属の計量スプーンではかります。

でき上りカップ	1	2	3	4
計量スプーンすりきり（杯）	1	2	3	4
標準使用量（約）	7g	14g	21g	28g

コーヒー粉の分量

●好みにより加減してください。

●１～２カップのときは多めに入れてください。

●計量スプーン4杯をこえないようにしてください。

❸フィルターバスケットを閉めます。

2.ガラスカップを本体にセットし水タンクに水を入れる

❶スイッチが「切」になっていることを確認します。

❷ガラスカップを本体に確実にセットします。

❸その後、水タンクに水を入れます。

※水位目盛の「4」より多く水を入れないでください。

※お湯・熱湯は絶対に入れないでください。水タンクが変形するあります。また、牛乳、酒など水以外のものは入れないでください。

水につけたり、水をかけたりしない。

●感電・ショートの恐れがあります。

3.スイッチを入れる

❶電源プラグをコンセントに差込みます。

❷スイッチを「入」にします。パイロットランプが点灯し、約30秒でお湯が出ます。

警告

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

●火災、感電の原因となります。

注意

蒸気出口に手を触れない。

●やけどをすることがあります。

4.　ご使用方法　中びき粉をお使いください。

4.コーヒーを注ぐ

❶スイッチを「切」にし、ドリップが完了してからガラスカップを取り出します。
❷保温するときは、スイッチを「入」にしておきます。
※フィルターは、ドリップが完了して２～３分以上してから取り外してください。滴が落ち床面などを汚すことがあります。

⚠注意

使用中や使用直後は保温板に手を触れない。
●高温ですのでやけどの原因となります。

5.使用後は

❶スイッチを「切」にします。
❷電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠注意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
●けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

4.　ご使用方法　応用

続けてコーヒーを作る

⚠ 注 意

続けて水を入れたとき、蒸気が出るので蒸気出口に手をふれない。

●やけどをすることがあります。

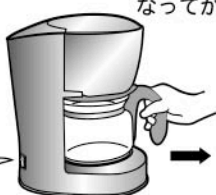
保温板は熱くなっているので、手をふれない。
●高温ですので、やけどの原因となります。

●必ずスイッチを「切」にして手順をくり返します。

途中で中止する

●スイッチを切にし、お湯が出なくなってからガラスカップを引き出します。
●保温板が冷えてから残り水を捨てます。

お湯が出なくなってから

切

アイスコーヒーの作り方

●準備するもの
○アイス用コーヒー粉(中びき)　○氷
○シロップ　○生クリーム
●水量は、必要カップ数の約半分とし、ホットコーヒーと同じ手順で入れます。
●でき上がったら、あらかじめ用意した別容器にコーヒーと同量の氷を入れ、その上から熱いコーヒーを注ぎます。
●氷を入れたらグラスに注ぎ、お好みにあわせシロップ、生クリームを加えます。

コーヒーの香と味をにがさないために、急速に氷で冷やすことがポイント！

5.　お手入れの仕方 製品を長もちさせるコツです。

■お手入れするときは

⚠ 警 告		⚠ 注 意	
	本体を水につけたり、水をかけたりして洗わない。 ●感電、ショートの恐れがあります。		電源プラグをコンセントからぬき、本体が冷えてから手入れをする。 ●感電、ショート、やけどの原因となります。

●台所用洗剤、やわらかい布、スポンジを使ってください。

シンナー・ベンジン・みがき粉・たわしなどは、表面を傷つけますので使用しないでください。

■お手入れのしかた

●水タンク
○水ですすぎます。
●本体外側、保温板
○よくしぼった布でふき取ってください。
●タンクふた、バスケットガラスカップふた
○スポンジで洗ってください。

※水タンク内には洗剤は使わないでください。

●ガラスカップ

⚠ 注 意			
	熱いうちに水の中に入れたり水をかけたりしない。 ●ガラスが割れけがの原因となります。		強い衝撃を与えない。 ●ガラスが割れけがの原因となります。
			ヒビが入ったまま使用しない。 ●けがの原因となります。

○スポンジで洗ってください。

6.　お湯の出具合が悪くなったときは

湯アカが付着し、湯の出具合が悪くなることがあります。
次の方法でとりのぞいてください。

❶ガラスカップにレモン汁（1コ分）を入れ、水位目盛の「4」まで水を入れて混ぜる。
※レモン汁は、ふきんなどでこして種と絞りかすを取りのぞく。
❷❶を水タンクに入れ、フィルター・ガラスカップをセットし、ドリップする。レモン水が水タンク内の水位目盛の「2」の半分になったら、スイッチを切る。
❸水タンクに残ったレモン水を捨てすすぎ、水を数回ドリップしてレモンのにおいを取る。
❹1回で充分でない場合は数回くり返してください。

7.　故障かな？と思ったら

●ご使用中、異常が生じたときには、この表を見ながらチェックしてください。

こんなとき	お調べいただくこと	なおしかた
通電しない	電源プラグをコンセントに差し込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
お湯がでない	タンクに水を入れ忘れていませんか？	タンクに水を入れてください。
コーヒーがあふれる	ガラスカップを入れ忘れていませんか？	ガラスカップを入れて使用ください。
	ガラスカップのふたを忘れていませんか？	ガラスカップのふたをつけて使用ください。
	フィルターが正しく確実にセットされていますか？	フィルターを正しくセットして使用ください。
	コーヒー粉をいれすぎていませんか？	正しい量でご使用ください。
コーヒーがぬるい	ガラスカップが保温板に傾いてのっていませんか？	保温板に正しくのせてください。
お湯の出が悪い	内部のパイプが詰まっていることがあります。	「お手入れの仕方」をご覧になって、詰まりを取り除いてください。